

# 委員派遣実績報告書

令和元年11月18日

米子市議会議長様

民生教育委員会  
委員長 安田 篤



委員派遣を行い、所管に属する事務に関する先進地事例について調査を行いましたので、下記のとおり報告します。

## 記

委員会名	民生教育委員会
期 日	令和元年10月28日から令和元年10月30日まで
視 察 先 及び視察 内 容	10月28日(月) 愛知県高浜市 調査項目:「AIを活用した介護サービス計画」について 10月29日(火) 岐阜県岐阜市 調査項目:子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”に ついて 10月30日(水) 愛知県北名古屋市 調査項目:コミュニティ・スクールの取り組みについて
参加者名	【委員長】安田 篤 【副委員長】安達卓是 【委 員】岡村英治、奥岩浩基、土光 均、三嶋秀文 矢田貝香織、渡辺穰爾 【随 行】議会事務局 主任 安東智志
経 費	536,580円
委 員 会 所 感	別紙のとおり

## 1. 10月28日 愛知県高浜市

### 「AIを活用した介護サービス計画について」

#### (1) 視察の目的

米子市では介護人材不足については、深刻な課題となっており人材の確保・業務量の軽減は喫緊の課題である。AIを活用した事業を視察し、今後の参考とする。

#### (2) 視察（説明）要旨

高浜市における「AIを活用した介護サービス計画」の背景として、第7期介護保険事業計画の課題となっている将来へ向けての介護人材不足に対し、人材の確保と育成の取組を進めている。主なものとしては、就職者増への取組、離職者減への取組、そして今回の視察である事務の効率化（AI活用ケアプラン作成実証事業）である。

5事業者に、AIを活用したケアプラン作成ツールにアクセス可能なタブレット端末を貸与しケアプラン作成に活用してもらったものであるが、今年7月から1月まで実際に使用してもらい、3月までに検証を行う。

- ・約40万件のケアプランを学習したAIが客観的なデータに基づき、より適正なプランを作成できるため、ケアマネジャーの負担軽減となる。
- ・容態の予測を視覚的に本人・家族と共有することで、本人・家族の理解が深まり合意形成が容易になる。
- ・軽減自立支援の高齢者が増加することで、将来的に介護給付費の抑制につながり、介護保険料も適正化される効果が期待される。

などの効果が期待される。

また想定される課題としては、

- ・生活環境、経済状況、サービス事業所の力量は反映出来ないこと
- ・本人や家族が望まない場合に自立に進むことができるのか

などがある。

#### (3) 主な質疑応答

Q1. AI活用での効果、目指すものは何か。

A1. 将来的な介護人材不足によるケアマネジャーの業務の補完。AIが万能で全ての業務を補完するとは現時点では考えていない。

Q2. AI活用に対して現場等からの壁はなかったのか、またシステムを共有できているのか。

A2. 実証事業の予算化に際しては議会でも意見が分かれたが、現場については今後実証していく。

Q3. AI活用でみえてきた効果と課題は。

A3. 実証中で検証前ではあるが、現時点では前述の事項が想定されている。

Q4. AI活用にあたっての経費、効果検証の経費等について。

A4. 基本的には事業所負担となるであろうが、今回は市の実証事業の為、前述の予算で活用・検証を行っている。

#### (4) 視察（説明）要旨に対する考え及び本市への参考となる点

米子市では介護人材不足については、高浜市よりも深刻な課題となっており人材の確保・業務量の軽減は喫緊の課題である。この度、AI産業の発展による介護現場での業務量の軽減については本市においても大いに参考にすべき事項であった。更なる福祉サービスの向上のため、米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定が間近となる本市では、高浜市の事業以上に介護現場における業務軽減について、AI等を利用し積極的に進めるべきであると感じた。

## 2. 10月29日 岐阜県岐阜市

### 「子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”」について

#### (1) 視察の目的

岐阜市の当該施設は、子ども・若者に関わるあらゆる悩みや不安の相談への対応、また、発達段階に応じた継続的な支援を目的に設置されており、その先進的な取り組みについて、調査を行い、本市における子ども・若者への総合的支援の参考とする。

#### (2) 視察（説明）要旨

この施設は、市中心部の廃校の校舎を利用した施設であり、子ども・若者に関わるあらゆる悩み・不安の相談への対応、また、発達段階に応じた継続的な支援を目的として設置されたものであるが、最大の特徴は、従来縦割り行政を再編し、外部の専門家や関係機関との連携による横断的なワンストップの総合相談支援センターであるという点である。悩みを抱えている人にとっては、どこに相談すれば良いのか分からない場合も多いが、エールぎふでは、電話かメールで受け取った相談を必要に応じて来所、訪問で面談することによって、いかなる相談に対しても耳を傾け、受け止めることを基本姿勢として運営されていた。

また、関わる専門家も、教員、保育士、保健師、社会福祉士、精神保健福祉士等だけではなく、臨床心理士、医師、弁護士、警察官など幅広く、それら外部専門家も加わった検討会議を経て、一人ひとりに合わせた個別支援プログラムを作成し、専門職によるチーム支援を行っておられた。支援については20歳までを目安としているが、それ以上の年齢についてもまずは相談を受け、他の機関につなぐということで対応しているとのことであった。そして、運営体制としては、100名を超える体制で、人件費予算についても4億円強と手厚い体制がとられており、岐阜市のこの施策に対する力の入れようが窺えた。

### (3) 主な質疑応答

Q1. 発達障がいの相談は学校側からあるか。

A1. ある。なるべく学校で対応し、難しいところのみメールとなる。

Q2. 相談の最初の受付はどこになるのか。

A2. ホットダイヤルを設置している。

Q3. 公認心理士の役割とは。

A3. 平成30年から国家資格となっており、心理面からのアプローチをしている。

Q4. ワンストップの良さを感じられる。このようになった経緯は。

A4. 行政、福祉と縦割りだったものをトップダウンにより一緒になった。

### (4) 視察（説明）要旨に対する考え及び本市への参考となる点

本市において、40万都市である岐阜市と同様のこのような施設を運営していくためには、財政や人員の問題等、クリアしなければならない課題は多いが、間違いないのは、教育委員会と福祉保健部とが、連携以上に一体となって取り組まなければならない施策であるということである。岐阜市においては、「子ども未来部」という部の直属のセンターという位置付けであったが、本市においても、一人ひとりに寄り添った切れ目のない丁寧な相談と支援を行うためにも、岐阜市のような教育と福祉とを統合した組織体制を構築することも有益ではないかと感じた。

## 3. 10月30日 愛知県北名古屋市

### 「コミュニティ・スクールの取り組みについて」

#### (1) 視察の目的

北名古屋市の施策の柱の一つである「市民協働のまちづくり」を、教育の分野において推進していくために、国の「地域とともにある学校」を活用し、「市民協働による学び支援推進事業」として平成24年4月に新しい仕組みづくりに踏み出し現在に至っている。

今回の視察で、「市民協働による学び支援推進事業」と「コミュニティ・スクール」について学び、米子市における「地域とともにある学校づくり」に役立てることを目的に視察をおこなった。

#### (2) 視察（説明）要旨

○平成24年「地域とともにある学校づくり」を目指し、各小中学校に「学校運営協議会」と「学校支援地域本部」の設置をめざした。地域により学校への関わりに差があり、最初はどこの学校も手探りの状況。

平成29年4月に、市内全小中学校（小学校10校・中学校6校）に「学校運営協議会」が設置されるまでの流れ。

- 事業説明、地域人材の確保・育成。
- 代表的な学校の運営協議会の体制紹介や、具体的な学校地域協働活動や中学生の地域貢献活動。  
などの説明を受けた。

### (3) 主な質疑応答

- Q 1 防災訓練・防災教室はどのような形で実施しているか。
- A 1 ある学校では夏休みの登校日であるとか、またある学校では、より充実した訓練にするために二学期に学年を分けて実施している。  
運営協議会を中心に、毎年 訓練内容を工夫している中学校もある。
- Q 2 学生ボランティアの現状はどのようになっているか。
- A 2 昨年60人。今年現在45人。無償。ボランティア保険のみ。
- Q 3 教員が人事異動で北名古屋市に着任した時に戸惑いはないか
- A 3 戸惑いはあるかもしれない。新任校長には2日かけて説明している。  
逆に、北名古屋市から他自治体へ移動した場合は、地域連携がわかっているとして歓迎される場合もあると聞いている。
- Q 4 学校評議員制度と学校運営協議会の違いについて確認したい。
- A 4 看板の書き換えではなく違うもの。強化拡大した。全ての評議員が運営協議会に入ったわけでもない。
- Q 5 学校運営協議会委員の各校15名以内は活動内容からは妥当かもしれないが、多い印象を受ける。人材確保に苦労されたのではないか。
- A 5 最初は大変だったが、年数を経て、児童館の中心的人や主任児童委員などへと、運営協議会委員から広がっていったところもある。
- Q 6 学校を中心とした地域力の高まりは理解できるが、学校側、あるいは児童生徒にどのように影響しているか。学校的にも高まり感はあるか。
- A 6 地域の人から褒められることで子どもたちの意欲向上に繋がっている。  
学校行事への関わり方も、具体的になり良い方向に向いている。  
先生方にとっては、地域のボランティアが学校に入るという不安は、経験の中で無くなっている。地域の方々は応援団として入ってこられるので、先生方の負担軽減感はある。
- Q 7 教育費のウエートが高い。市長部局との連携についてうかがいたい。
- A 7 市長が「教育のまち」を掲げてとりくんでいる。総合教育会議以外でも、密に連携をとっている。
- Q 8 PTA活動・役員の成り手不足・子ども会消滅等の課題はあるか。
- A 8 なくはないが、関わり方の幅が広がってきているところもある。
- Q 9 社会教育委員との関係
- A 9 社会教育委員は10人。40～50代の社会教育を今現在引っ張っている人も入っている。

教育委員長（教育委員は5人）も社会教育委員長も、全市的な体制の中に入っており、情報共有できるメンバーに位置付けている。

Q10 活動の継続や課題について。

A10 学校のニーズを伝えていくこと。ボランティアなので活動に波があるのは当然。コーディネートが大事になる。

事業実施・事業継続に、専門の職員の役割りが大きい。

(4) 視察（説明）要旨に対する考え及び本市への参考となる点

- 本市におけるコミュニティ・スクールの推進には、学校教育と社会教育を繋げることがポイントになると感じた。生涯学習課が一係であることについて、今後見直し体制強化が必要だと考えた。
- 学校運営協議会を中心に「市民協働」が進むことで、児童生徒と地域住民、保護者世代と地域といった世代間交流がうまれていることは、「地域とともにある学校」を目指したことで地域住民の繋がりが強化されているということ。まちづくりにおいて大いに参考になると考える。
- 「豊かな学び創造推進協議会設置要綱」・「地域学校協働本部要綱」・「学校運営協議会規則」等を定めていることは、コミュニティ・スクールの位置づけが、市として明確になっていることの現れである。  
本市においても、このような要綱の策定と、人材が鍵になると痛感した。

# 民生教育委員会行政視察行程表

◎参加者9名〔委員8名・随行者1名〕安田委員長、安達副委員長、岡村委員、奥岩委員、土光委員、三嶋委員、矢田貝委員、渡辺委員  
 随行者：議事事務局議事調査担当 安東

月 日	行 程	宿 泊 先
10/28 (月)	8:19 米子駅 == (伯耆大山駅) == 岡山駅 == 名古屋駅 == 刈谷駅 == 三河高浜駅 --- 市役所 JR 特急やくも8号 JR 新幹線のぞみ16号 JR 東海道本線 名鉄三河線 タクシー ・岡山行 ・東京行 ・豊橋行 ・碧南行	
	<b>高浜市行政視察</b> 午後2時30分から午後4時00分まで 【議事事務局】 ☎0566-52-1111 (代表) 【調査項目】 A I 活用による介護サービス計画について	
	16:54 市役所 --- 三河高浜駅 == 刈谷駅 == 名古屋駅 17:43 名鉄名古屋駅 タクシー 名鉄三河線・知立行 JR 東海道本線新快速・大垣行	
10/29 (火)	11:50 名古屋駅 == 岐阜駅 --- 支援センター JR 東海道本線・岐阜行 (送迎予定)	名古屋市内宿泊
	<b>岐阜市行政視察</b> 午後1時30分から午後3時30分まで 【議事事務局】 ☎058-214-6237 【調査項目】 子ども若者総合支援センター“エールざぶ”について (現地視察)	
	16:23 支援センター --- 岐阜駅 == 名古屋駅 16:44 名古屋駅 (送迎予定) JR 東海道本線・豊橋行	
10/30 (水)	9:21 名鉄名古屋駅 == 西春駅 --- 市役所 9:35 市役所 名鉄犬山線・岩倉行 タクシー	
	<b>北名古屋市行政視察</b> 午前10時00分から午前11時30分まで 【議事事務局】 ☎0568-22-1111 【調査項目】 コミュニティスクールの取り組みについて	
	11:54 市役所 --- 西春駅 == 名鉄名古屋駅 * 名古屋駅 == 岡山駅 == (伯耆大山駅) == 米子駅 タクシー 名鉄犬山線・東岡崎行 徒歩 JR 新幹線ひかり469号 JR 特急やくも19号	

旅費計算表

愛知県高浜市・岐阜県岐阜市・愛知県北名古屋市

民生教育委員会行政視察

令和1年10月28日～令和1年10月30日(2泊3日)

月日	区間	鉄道路線名	運賃	備考	急行料	当日	宿泊料	
							甲	乙
10/28 (月)	米子駅～新大阪駅		10,480	阪神早得往復	特別新幹線	随行1,100円	10,900円	9,800円
	～刈谷駅	JR	3,740			1,500	14,800	
	～三河高浜駅	名鉄	300			1,100	10,900	
	～刈谷駅	名鉄	300					
	～名古屋駅	JR	420					
10/29 (火)	名古屋駅～岐阜駅	JR	470				14,800	
	岐阜駅～名古屋駅	JR	470				10,900	
10/30 (水)	名鉄名古屋駅～西春駅	名鉄	300					
	西春駅～名鉄名古屋駅	名鉄	300					
	名古屋駅～新大阪駅	JR	3,410			3,060		
	～米子駅	JR						
計	議員旅行		20,190		0	6,330	4,500	29,600
	随員		20,190		0	6,330	3,300	21,800

出席議員：安田委員長、安達副委員長、岡村委員、奥岩委員、土光委員、三嶋委員、矢田委員、渡辺委員  
随行者：安東議事事務局議事調査担当主任

議員 60,620 × 8名 = 484,960  
随員 51,620 × 1名 = 51,620  
合計 536,580